

組織部報

2015年

4月1日

国労東日本本部

組織部

国労加入を

大胆に訴えよう!

JR東労組Ⅱ消えた労使共同宣言!

東京地本管内のとある職場の東労組分会
会掲示板から、労使共同宣言の掲示が消
えた。この時期になぜ?と、分会は首をか
しげている。

情報提供を受けた東日本本部は、興味
深いこの事実の取材を試みる中で、今の
労使関係の構図が垣間見えてきた。

分会によると、労使共同宣言が掲示さ
れたのが約1年半前の2013年の晩秋
だという。それも平成13年8月に、会
社と東労組で締結したもので、12年も経
過し色あせた掲示がされたことで、ひと
きわ目を引き、それを見た組合員は『な
んで今?これ見よがしに貼ったのか?会
社にすがっているとしか見えなかった』

と言う。

これまで何度となく掲示が貼り替え
られても、この労使共同宣言だけは1年
半の間、無くなることはなかった。時に
は他の掲示全てが取り払われても、労使
共同宣言だけは貼り続けられ、所属する
組合員に何を伝えようとしているのか、
ある意味異様な光景を醸し出していたと
いう。

〈春闘がきっかけ?〉

この労使共同宣言が掲示板から姿を消
したのは、東労組の分会が1年ぶり?に
開催した昼休み集会翌日かららしく、地
本・支部の役員が入り約15分間、会

社会議室で行われていたらしい。参加し
た組合員の話によると春闘情勢について
ということらしいが、その人は『何でも
いいけど訳の分からない話を聞かせない
で、早いとこ妥結してほしい』と言っ
ていたようだ。

〈意味するものとは…〉

国労東日本本部がこの興味深い情報に
接し、現場で何が起きているのか取材を
続けるなか、あるものが目に入ってきた。
東労組のホームページに、今回のヒント
が出ているように見えた。

どうも現在の流れは、東労組本部が3

月17日に本社に行った申し入れに端を発している模様で、その内容は昇給係数をベア実施の基礎とせず、基本賃金を基礎にしろとしている内容の交渉が暗礁に乗り上げているという点だ。

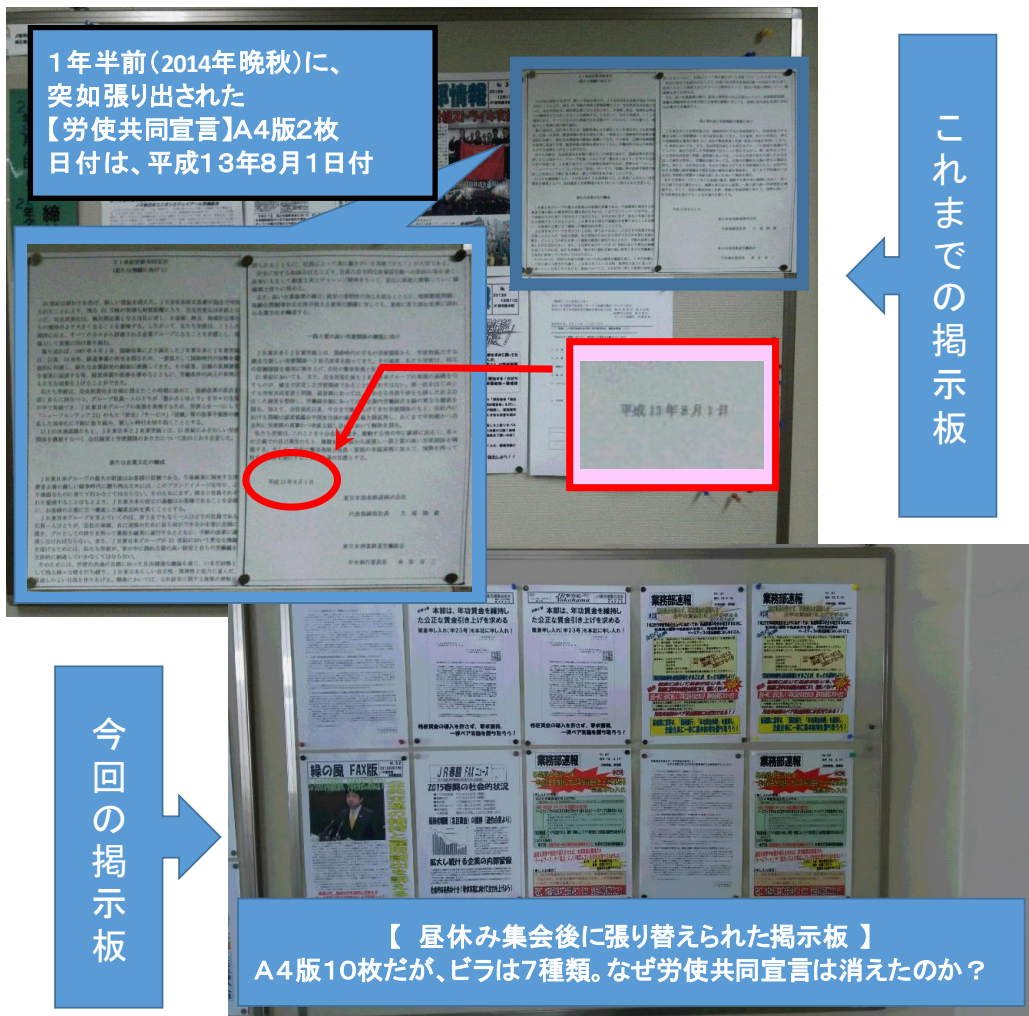
他の組合の要求内容についてその是非をとやかく言うつもりはないが、不可解なのは、今の新人事賃金制度にしろ、昨年のベア実施にしろ、それ自体を認めてきたのが他ならぬ東労組自身ではなかったのか？という点。これまでの経過から理解不能な点が多いが、現場組合員が言うように、思い付きのように組合員、家族の生活を引きずり回すのは勘弁願いたい。

「どこまで考えているの...」

もう一方で目につくのが、東労組ホームページに掲載されている「京浜東北・根岸線および横浜線の乗務員基地再編成における緊急申し入れ」。同時期に2つの緊急申し入れをしていることから、その関連性が少なからず見えてくる。

これらのことから、『すがるように貼られていた』労使共同宣言が今回取り除かれたと見える。

今回のとある分会で消えた労使共同宣言の意味は、東労組の前身旧動労組織を知る私たちから見ると、どうもこの点がキーポイントにも見える。



これまでの掲示板

今回の掲示板

【昼休み集会后に張り替えられた掲示板】
A4版10枚だが、ピラは7種類。なぜ労使共同宣言は消えたのか？

職場の情報を、
東日本本部へ集中しよう！